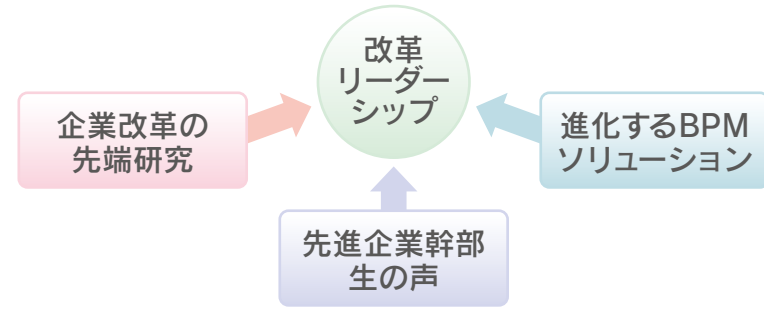


BPMフォーラムとは

BPMフォーラムは、ビジネス・プロセス改革と、その実践手法であるBPM(ビジネス・プロセス・マネジメント)に取組む経営幹部や改革推進者が、

- 先進的に取り組む企業経営幹部の生の声
- プロセス志向/IT活用による企業改革の先端研究
- 進化するプロセス改革/BPMソリューション

に直に触れていただく場です。確信を持って改革へのリーダーシップを振るっていただくために、ぜひ、お役にてください。



ご参加の7つの意義

- 1 先進企業経営者の基調講演により、改革への決断を図り、コンセンサスを形成する経営幹部のリーダーシップを学ぶことができます。
- 2 ビジネス・プロセス改革の先進事例により、これを企画・推進する上での様々な障害を見通し、その具体的な克服策を学ぶことができます。
- 3 BPMによって得られる顧客サービス方式、新しいワークスタイル、マネジメン効果等を知り、BPMの適用領域、適用ポイント、適用限界を学ぶことができます。
- 4 BPMの推進において鍵となるコンセプト、人・組織づくり、ITソリューションの適用方法のポイントを知ることができます。
- 5 先進ビジネスモデル/ビジネス・プロセスを実現する上での武器となるITソリューション等の具体的な情報を知ることができます。
- 6 BPMシステムを実現する多くのソリューションに直に触れ、その機能を実感することができます。
- 7 ビジネス・プロセス改革、およびBPMで企業/事業の改革に取り組む経営幹部層との交流の場/機会が得られます。

ご参加いただきたい方々

- **企業・事業のコアプロセス改革をリードする経営幹部、改革推進者**
CEO、CIO、事業部長/企画担当、営業部長/企画担当、経営企画部門長、本社部門長、業務プロセス改革部門長/プロジェクトリーダー、マーケティング部門長、コールセンター/コンタクトセンター担当幹部、サービス部門長等
- **業務/プロセス改革に取り組むIT部門幹部**
IT戦略企画部門長、IT部門長、情報システム子会社幹部、等
- **プロセス改革/BPMを推進するスペシャリスト**
ビジネス・プロセス・マネジャー、ビジネスアナリスト、ビジネス・プロセス・アナリスト、ビジネス・プロセス・エンジニア、ITコーディネータ、BPM関連スペシャリスト
- ITコーディネータ知識ポイントについて
本フォーラムにご参加のITコーディネータの方には、出席時間に応じた知識ポイントが付与されます。当日、受付にてお申し出ください。

BPMおよび日本BPM協会について

BPM(ビジネス・プロセス・マネジメント)は、顧客を起点とするビジネス・プロセスのパフォーマンス、変化対応、ガバナンスを実現する経営手法です。日本BPM協会は、BPMの価値と必要性を確信する企業・団体・有識者と共に、その普及・啓蒙と基盤的課題の解決を促進することをミッションとして、2006年に設立された非営利団体です。

経営の改善サイクルを人とITで



〈第6回BPMフォーラム2011申込書〉 お申込みはウェブサイトまたはFAXで

URL: www.bpm-j-forum.org FAX: 03-3219-3628

(2名様以上でお申し込みの場合は、申込書をコピーしてお使いください)

会社名・事業所名	
部署	役職
フリガナ	
氏名	
住所 〒	
TEL	内線() Fax
Email	

■ 参加費/一名様あたり(□にレ印)

区分	金額	
	1名	2名以上1人あたり
<input type="checkbox"/> 日本BPM協会会員	10,000円	8,000円
<input type="checkbox"/> 一般(ユーザー企業)	12,000円	10,000円
<input type="checkbox"/> 一般(ベンダー企業)	20,000円	16,000円
<input type="checkbox"/> 特別コードをお持ちの方	お申込時にご記入ください	

- お支払いについて
参加費が発生する方には後ほど請求書をお送りいたします。
※参加費のお支払いの義務は、ウェブサイトまたはFAXにて登録いただきました時点から発生いたしますので、予めご了承ください。
- キャンセル規定
止むを得ずキャンセルをする場合は必ずEmailまたはFAXにて登録事務局までご連絡ください。
※2月28日までにご連絡いただいた場合
参加費の50%
返金は、原則としてフォーラム終了後となりますので、予めご了承ください。
尚、返金時の振込み手数料は、返金額より差し引かさせていただきます。
※3月1日以降にご連絡いただいた場合
参加費の100%(返金なし)
後日、フォーラム資料を送付いたします。

■ ご出席予定のプログラムにチェックをしてください(□にレ印)

9:30-10:00	<input type="checkbox"/> ご挨拶 / ビジネスプロセス改革実態調査報告
10:00-10:45	<input type="checkbox"/> 基調講演1 三井物産トレードサービス株式会社
11:00-12:00	<input type="checkbox"/> パネルディスカッション <input type="checkbox"/> 研究報告
13:00-13:45	<input type="checkbox"/> A-1 株式会社日立情報システムズ <input type="checkbox"/> B-1 株式会社 野村総合研究所 <input type="checkbox"/> C-1 日本アイ・ビー・エム株式会社
13:55-14:40	<input type="checkbox"/> A-2 JBSソリューションズ株式会社 <input type="checkbox"/> B-2 株式会社 野村総合研究所 <input type="checkbox"/> C-2 日本オラクル株式会社
15:00-15:45	<input type="checkbox"/> A-3 株式会社 日本能率協会コンサルティング <input type="checkbox"/> B-3 株式会社 ユーフィット <input type="checkbox"/> C-3 日本プログレス株式会社
15:55-16:40	<input type="checkbox"/> A-4 富士ゼロックス株式会社 <input type="checkbox"/> B-4 新日鉄ソリューションズ株式会社 <input type="checkbox"/> C-4 富士通株式会社
17:00-18:00	<input type="checkbox"/> 基調講演2 ソニー生命保険株式会社
18:00-	<input type="checkbox"/> 交流会
15:00-16:40	<input type="checkbox"/> 株式会社 野村総合研究所 個別相談会

■ 事務局へのご連絡

会場 目黒雅叙園 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1
TEL: 03-5434-3837

- 電車でお越しの場合: 目黒駅より徒歩3分(JR山手線・東急目黒線・地下鉄南北線・三田線)
- 車でお越しの場合: 高速2号線目黒ランプより3分

申込・登録に関するお問合わせ先

第6回BPMフォーラム2011事務局

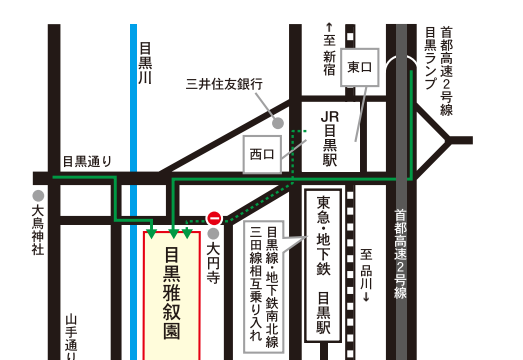
株式会社ICSコンベンションデザイン内
〒101-8449 東京都千代田区猿樂町1-5-18千代田ビル
TEL: 03-3219-3561 FAX: 03-3219-3628
Email: bpmforum@ics-inc.co.jp

本フォーラムへのお申込みをもって、下記の件をご了承いただくものとさせていただきます。

- 日本BPM協会/第6回BPMフォーラム事務局は、本フォーラムで提供される情報・商品の正確性・完全性に細心の注意を払っておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。提供される情報・商品の利用は、参加者の責任において行われるものとします。本フォーラムで提供される情報・商品の利用、不利用によって生じた損害等について、一切の責任を負いません。
- 第6回BPMフォーラム2011お申込にあたり本フォーラムのお申込みにあたって、お客様の個人情報は厳重に管理いたします。本規約をもって、下記の件をご了承いただくものとさせていただきます。
- *お客様の個人情報は本フォーラム運営の為、また今後のお客様への各種ご案内の為に、お申込み及び本フォーラム受付、参加者アンケートにて収集いたします。
- *お客様の個人情報は、日本BPM協会/第6回BPMフォーラム2011事務局(株式会社ICSコンベンションデザイン)にて共有いたします。
- *日本BPM協会/株式会社ICSコンベンションデザインより、その後各種情報、セミナー、その他のご案内を送付させていただきます。
- *また、個人情報を基にフォーラムに協賛いたします企業より今後各種製品情報、商品、技術その他について電話、DM及びEメールにてご案内させていただきます。そのため、協賛企業に対し、今後のお知らせに必要な参加登録者の個人情報を本フォーラム終了後に提供いたします。もし個人情報の提供に同意されない場合は参加申込フォームの事務局へのご連絡欄にその旨ご記入ください。
- *お客様の個人情報の削除、訂正をご希望の場合は、以下までご連絡下さい。

【本フォーラムの個人情報に関する管理者】〒105-0011東京都港区芝公園三丁目1番22号 日本能率協会ビル1階 株式会社日本能率協会コンサルティング内 日本BPM協会 理事 事務局長 横川 省三
TEL: 03-3434-0982 FAX: 03-3434-2963

【委託会社及び個人情報に関する管理者及び連絡先】〒101-8449 東京都千代田区猿樂町1-5-18千代田ビル 株式会社ICSコンベンションデザイン 第3事業部長 松井 高広 TEL: 03-3219-3561 FAX: 03-3219-3628
第6回BPMフォーラム事務局(株式会社ICSコンベンションデザイン内) 〒101-8449 東京都千代田区猿樂町1-5-18千代田ビル TEL: 03-3219-3561 FAX: 03-3219-3628 Email: bpmforum@ics-inc.co.jp



The 6th BPM-J Forum

経営の改善サイクルを人とITで



2011.3.8(火)
9:30 - 18:00 (受付9:00~)

- 会場 目黒雅叙園
- 主催 日本BPM協会 (<http://www.bpm-j.org>)
- 共催 株式会社ICS コンベンションデザイン

特別協賛企業



協賛企業



メディア協賛企業



<p>ご挨拶</p> <p>平素より小会事業には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、国内消費市場の構造的な成熟を背景に、企業経営は、急速なサービス化、グローバル展開、グループガバナンス確立など、ビジネス・プロセスの改革が焦点となり、これを実践する経営手法であるビジネス・プロセス・マネジメント(BPM)への関心も益々高まっています。</p> <p>今回で第6回となるBPMフォーラムは、顧客価値づくりに向けたビジネス・プロセス改革を実現している多くの先進企業幹部のご協力を頂き、成功に導いた当事者の生の声、そして実践を積み急速に進化を遂げているBPMソリューションをご紹介いたします。</p> <p>プロセス改革に向けてリーダーシップを発揮する経営幹部の方々のご参加をお待ちしております。</p>	<p>日本BPM協会 会長 秋山守由</p>
--	------------------------

開催概要


- **日 時**：2011年3月8日(火)
- **後援**：経営情報学会 (予定) 国際CIO学会 日本CIO協会 独立行政法人情報処理推進機構 社団法人日本能率協会 社団法人日本情報システム・ユーザー協会 社団法人企業情報化協会 特定非営利活動法人ITコーディネータ協会 ビジネスプロセス革新協議会 サプライチェーンカウンシル日本支部 IIBA™(International Institute of Business Analysis)日本支部
- **メディア協賛**：ITmedia エグゼクティブ ITmedia エンタープライズ CIO Magazine 日経情報ストラテジー
- **フォーラム/展**：9:30-18:00 (受付9:00～)
- **会場**：目黒雅叙園
- **主催**：日本BPM協会 (http://www.bpm-j.org)
- **企画協力**：プロセス志向イノベーション推進会議
- **共催**：株式会社ICSコンベンションデザイン

フォーラムプログラム (予定※講演時間および内容に変更の可能性がございます)

9:30-10:00	ご挨拶 / ビジネスプロセス改革実態調査報告
------------	------------------------

基調講演1

三井物産のトレード・ロジスティクス・ガバナンスをこう進めた ～次世代シェアードサービスにより実現したプロセス改革～




三井物産は、2004年より、商社ビジネスのコア機能の一つ、貿易実務と物流機能のガバナンス強化のために、シェアードサービス化を中核としたプロセス改革を断行した。その軌跡とともに、その中核を担った三井物産トレードサービスの伊藤社長より、実行局面において顕在化した問題と、そこへの対応としてミッション、ビジョン、バリューの共有、BSC、目標管理制度、情報システムによるプロセスマネジメントの仕組みと運用など、その取組みと将来ビジョンを語る


ブレイクタイム (15分)

パネルディスカッション

ビジネスプロセス改革／BPM実践の壁をどう乗り越えるか(仮題) ～カシオ計算機、三井住友海上火災の推進者に学ぶ～



ビジネスプロセス改革は、企業の存続・進化をもたらす重大な取組みですが、一方、企画、実践、技術などで、多くの壁を乗り越える必要があります。本セッションでは、カシオ計算機様、三井住友海上火災保険様において、事業のコアプロセスをBPMなどの考え方を活用し改革してきたお二人より、その取組みのご経験とともに、どう仕掛け、成功への壁をどう乗り越えるのか議論していただきます。



モデレーター
日本BPM協会 理事・事務局長 横川 省三

ランチブレイク (60分)

A-1

すぐに効果を出せるBPM ～当社の実践とサービス事業への展開～

株式会社日立情報システムズ
BPMサービス本部 BTサービスセンタ 担当部長 三寺 誠一 氏
経営や業務の継続的な改善とITシステムへの実装…重要性は分かかっていても実際にBPMをどうやって進めていくか…。本セッションでは社内のBPMの推進体制や適用事例を踏まえて、早く効果を出すための実践方法をご紹介します。また、そのためにご用意するビジネスサービスやクラウドサービスなどの活用方法についてご紹介します。

A-2

BPM手法による販売/生産/施工プロセス刷新の「超上流」事例紹介

JBSソリューションズ株式会社
BPM事業部 事業部長 人見 正徳 氏
BPM協会コモンセンス部会員である当社が、創業の2007年から取組んできたBPMプロジェクトの事例をご紹介します。当社のBPMサービスでは、独自のプロセスモデリングによる現状分析やJBS大連を活用したお客様の中国進出支援、BAM/BIによる経営意思決定の支援等を推進しております。今回は、販売/生産/施工プロセスを刷新したい経営/企画部門様が、短期間で構想策定～TOBE示唆までを定義し、プロジェクトのROI向上を実現させた4社の事例をご紹介します。尚、ユーザーとのパネルディスカッションを同時開催いたします。

コーヒーブレイク (20分)

A-3

BPMが進まない2つの理由とその打開策 ～人づくり、コンセンサスづくり～

株式会社日本能率協会コンサルティング
オペレーション戦略事業部 チーフコンサルタント 田中 良憲 氏
多くの企業が、プロセス改革の実践手法として、BPMに注目していますが、“第一歩の踏み出し”ができていないのが実態です。スタートするには確固たる成果の見通しと、BPMを強力に推し進める人材確保が必須です。本セッションでは、BPMによるビジネスプロセス改革を進めるために、如何に、改革成果を検証してコンセンサスを形成するか、また、対象プロセスを的確に分析・設計・改善できる人づくりのポイントと具体的な進め方、金融サービス、消費財企業等の実践例を通してご紹介します。

A-4


営業生産性の継続的改善に向けた富士ゼロックスの取り組み

富士ゼロックス株式会社 ソリューション・サービス営業本部
BPMソリューション営業部ビジネス推進部 部長 木村 信一 氏
「先進的なITを導入し、省力化を進めたのに、なかなか業績改善に結び付かない」と悩む企業は少なくない。ビジネスがプロセスとITだけで成り立つものではなく、生身の人間の存在抜きには語れないからである。富士ゼロックスでは、プロセスの可視化と合わせ、人間系の活動に関する可視化手法を組み合わせ、自らの営業生産性向上に取り組んでいる。その内容をご紹介しますとともに、これからのBPMの方向性について整理したい。

コーヒーブレイク (20分)

基調講演2

ソニー生命のプロセス改革の軌跡と乗り越えた壁 ～その本質的な難しさや成功へのヒント～



1981年に生命保険業界に参入した当社は、「ライフプランナー」制度を中核に、合理性追求型のビジネスモデルにより、持続的成長を果たした。それは、コア業務のプロセスを絶え間なく改革した歴史でもある。この改革に携わった嶋岡氏が、その軌跡を基に、プロセス改革の本質的な難しさ、具体的なアプローチと、乗り越えるべき壁、成功に導くヒントを語る。

交流会 (60分)

B-1

リユースITで俊敏な企業になるための成功要因とは

株式会社 野村総合研究所
研究理事 淀川 高喜 氏
リユースITとは、再利用可能な業務機能やシステム機能の集まりとして、企業の業務とシステムを構成することです。リユースITは、今日のグローバル規模での事業環境の変化に即応するために、新たな事業の立上げや従来からの事業の改革を、企業が俊敏に行うために役立ちます。ここでは、SOAやBPMを手法として活用し、改革の全体統治、業務とシステムの全体構造、改革を推進する組織と人材の整備も合わせた取り組みを行うことが、俊敏な企業の実現に不可欠であることを、国内外の先進事例を踏まえて解説します。

B-2

次世代BPM ソリューション「EBIS」を活用した経営基盤構築

株式会社 野村総合研究所
ERP推進室 室長 寺田 洋 氏
激しく変化する事業環境の中で、御社のITは経営戦略の展開に期待された効果を発揮しているでしょうか。経営戦略と日々の企業内の活動である業務とそれを支えるITを整合させるためにはBPMが有効です。しかしながらBPMに取り組むためには、方法論、実装技術や実行体制面からの総合的なアプローチが求められます。本セッションでは「経営戦略とITの融合」にフォーカスし、経営戦略に合致し最適に設計された業務プロセスを実現する次世代BPMソリューション「EBIS」をご紹介します。

コーヒーブレイク (20分)

B-3

プロジェクトマネジメント改革をビジネスプロセス改革のトリガーに ～部分最適から全体最適へ～

株式会社ユーフィット
ソリューションコンサルティング部 村上 高敏 氏
弊社ではPMBOKに準拠したプロジェクトマネジメント(PM)の導入支援を行っておりますが、導入したお客様からは次のステップとしてBPMを実現したいという要望を多く頂きます。これはPMという部分最適を進めた結果、BPMという全体最適の必要性にお客様が気付かれたからに他ありません。本セッションでは実際のPMを導入したお客様がどのようなプロセスでBPMを実施する運びになったかを事例を交えて紹介します。

B-4

業務プロセスとシステムとの新しい関係 ～業務プロセスをもっと自由にもっと効率的に～

新日鉄ソリューションズ株式会社 産業ソリューション事業部 部長 井上 和佳 氏 / シニアマネジャー 仲通宏氏
主にシステム間や組織間で発生している手作業やパッケージ型システムの使用による非効率なオペレーションなどにより、業務プロセス全体として生産性や柔軟性の向上が阻害されています。BPMを適用することで、これらの問題を解決し、既存システムの制約から業務プロセスを解放させることが可能です。本セッションでは、ERP等の既存のシステムとその周辺の手作業を統合し、ビジネスプロセスの自動化・効率化を実現する弊社のシステム再統合ソリューションを、デモを交えながらご紹介します。

コーヒーブレイク (20分)

C-1

BPM最前線！世界の業務改善の現場でIBMが取り組んでいる事

日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア事業
シニア・テクニカル・スタッフメンバー-SOA/BPMアーキテクト 吉田 洋一 氏
IBMでは世界中の多くのお客様と共に具体的なBPM環境をコンサルティングし導入、実績を出しています。今、世界でBPMがどのように発展し業務効率化・経営効果に貢献しているのか、その中で高利便性を提供するソフトウェアの存在はどのように位置づけられているのか、プロセスを変えて改善すべき業務とは何か、短期間かつ反復的に効果を生み出す手法は何か、など様々な経験と知見を加え「BPMは何を変えているのか」という本質論に迫りIBMのBPMアプローチをご紹介します。

交流会 (60分)

C-2

業務生産性向上を狙ったBPM活用事例とオラクルの最新製品ご紹介

日本オラクル株式会社 Fusion Middleware事業統括本部
ビジネス推進本部 シニアマネージャー 中村 秀樹 氏
ビジネス環境の変化に順応したシステム構築は、すべての企業での必須要件であり、かつ業務に貢献し具体的な効果が得られることがますます重要となってきています。ITの変更柔軟性向上や業務貢献を後押しする技術の一つにBPMがあります。先進企業は、BPM技術をどのように活用し、どんな効果が得られたのか、お客様事例からその極意を紐解きます。本セッションでは、業務プロセス改革を進めるお客様の実際の取り組みをご紹介します。オラクルが提供するBPM製品の最新バージョン「Oracle BPM 11g」の紹介を交えてご説明します。

C-3

組織変更に強いエンドユーザー主導のビジネスプロセスの改善とは

日本プログレス株式会社
シニアソリューションコンサルタント 大井 貴文 氏
経営目標を実現させるビジネスプロセスを迅速に設計し、継続的に改善をしていくことの重要性は多くの企業において認識されています。しかしながら、日本企業にとっては組織変更に伴うプロセスの変更も避けられず、変更の迅速な反映、および、新旧プロセスの混在や履歴の参照も重要視されます。本セッションでは、組織変更にもエンドユーザー主導で対応できる柔軟なビジネスプロセスマネジメントのソリューションをご紹介します。

コーヒーブレイク (20分)

C-4

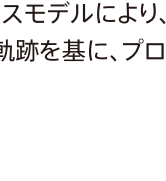
ヒューマン・セントリックBPMだからできる現場主体の自立的改善の実践事例

富士通株式会社 ミドルウェア事業本部
サービスマネジメント・ミドルウェア事業部 課長 勝部 耕太郎 氏
激しく変化するビジネス環境下では、現場主体の自立的な対応が不可欠です。従来のトップダウンアプローチ型のモデリング・分析に加えて、業務ログを用いたプロセスディスカバリ手法、現場に入り込んで業務分析を行うフィールドイノベーション。そしてヒューマンセントリックBPMだからできる現場マネージャーによる動的なプロセス管理手法などの実践事例をご紹介します。

コーヒーブレイク (20分)

基調講演3

トヨタ生命のプロセス改革の軌跡と乗り越えた壁 ～その本質的な難しさや成功へのヒント～



1981年に生命保険業界に参入した当社は、「ライフプランナー」制度を中核に、合理性追求型のビジネスモデルにより、持続的成長を果たした。それは、コア業務のプロセスを絶え間なく改革した歴史でもある。この改革に携わった嶋岡氏が、その軌跡を基に、プロセス改革の本質的な難しさ、具体的なアプローチと、乗り越えるべき壁、成功に導くヒントを語る。

交流会 (60分)

研究報告 11:00-12:00

IT投資価値を高める組織とは ～IT投資と経営成果に対する組織特性の役割と価値に関する研究プロジェクトより～

■ **知識創造活動とITValue**
東京工業大学 准教授 妹尾 大氏
IT投資のビジネス価値は、省力化や意思決定の迅速化などの既存業務効率化からだけではなく、顧客や供給業者などのステイクホルダーを巻き込んだ知識創造活動からも生み出される。本報告では、組織における知識創造活動のSECIモデル(共同化、表出化、連結化、内面化)を中心に据えて、IT投資とビジネス価値についての実証研究の結果を紹介する。

■ **組織IQとITValue**
早稲田大学 教授 平野 雅章 氏
IT投資のビジネス価値は、無形資産の蓄積によって大きく影響されることが広く認識されてきている。本報告では、無形資産の中でも組織IQ(組織の意思決定とコミュニケーションの仕組みとルールがどれだけ整備定着しているかの程度)と、IT投資のリターンとの関係を中心に、IT投資とビジネス価値についての実証研究の結果を紹介する。

■ **ひとつのつながりに焦点をあてたBPモデリング**
東京工業大学 教授 飯島 淳一 氏
ビジネスプロセスのモデリングには、様々な手法が提案されている。ここでは、ビジネスを人間活動システムとして捉え、「ひとつのつながり」に焦点を当てたDEMO方法論について、その概要と適用事例について紹介する。さらに、大規模調査の結果にもとづき、BPO (ビジネスプロセス志向性)がビジネスイノベーションにも正の効果をもたらすことを示すとともに、DEMOプロセスモデルを用いたプロセス革新について述べる。

個別相談会 15:00-16:40

特別協賛社の株式会社野村総合研究所によるセッション講演者を交えた個別相談会が別室で行われます。(ご自由に参加できます)

ソリューション展示・体験コーナー 9:00-18:00

本コーナーでは、BPMプレーヤーである協賛企業各社様より、プロセス改革を推進するためのBPMソリューションとして実践プログラムや、BPMシステムなどをご紹介します。BPMシステムとは、ビジネスプロセスをコンピュータ上で容易にモデリング(可視化)し、コスト、スピード、持ち時間などのシュミレーションを行い、可視化したビジネスプロセスから業務を行うアプリケーションを迅速に生成するものです。BPMシステムにより、ビジネスプロセスに必要なシステム構築の時間・コストを小さくすることができます。また、既存のERP、パッケージソフトウェアとの連携したプロセス作りがスピーディに行えたり、業務チェックリスト、業務状況のモニタリング機能を装備しており、業務の有効性、効率化を強力に支援します。ぜひ、展示されているBPMソリューションに触れ、体験いただき、その機能を実感してください。